

創立理念

幼児教育は人間形成の基盤を培う生涯唯一度の教育である

幼児がこの教育を受ける権利は全ての幼児の基本権として尊重され保障されなければならない

1. 本園の教育の3つの柱

基礎体力・体験学習・思いやりの心

2. 本年度の重点目標

『は・あ・と』の取り組み

- ㊦話を聞く……友達や教師の話を聞く(耳を傾ける)ことで相手の気持ちに気付き、寄り添うことができる。さらに話を聞く姿勢を身につけ、集中力を高める。
- ㊧挨拶をする…全園児、全教師間で日常的に挨拶することを身につけ、豊かな人間関係を築いていく。
- ㊨友達関係……友達とのかかわりの中で、協力し合ったり様々な気持ちを共有できる喜びを感じ、思いやりの心を育てる。

3. 評価項目の達成および取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	教育の3つの柱が育つ教育の実践	A	日々のクラス活動や本園の3大プロジェクト(フィジカル・ブレーン・自然環境)の活動の取り組みの中で、遊びを通して行えている。
2	一人ひとりの個性を生かす教育の実践	B	クラス活動など全体での活動の中での課題はあるが、日々の打ち合わせや活動報告をし合うことで個々の様子を伝え合い、一人ひとりに向き合う意識をしている。
3	様々なことに興味関心をもち、チャレンジすることの大切さが身につく教育活動の計画と実践	A	運動、表現遊び、クラス活動やイベントなど様々な分野で興味関心をもち、達成感を味わえるような活動を行っている。また、子どもたちが自主的に参加することで想像力、発想力など豊かな感性が育っている。
4	心の教育を意識し、自己肯定感につながる教育の実践	B	個々の気持ちに寄り添いながら、声掛けや指導方法などを変え、自信につながるようなかかわりをしている。

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	どの項目も日々の活動や自由遊びを通し概ね達成はしているが、さらに意識を高めていきたい。また、食育について保護者への周知が足りなかったため、今後の課題とする。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取組方法
1	SDGsと食育	食育や友達とのかかわりの中で園でも取り組めるSDGsの課題項目をピックアップし、実践していく。
2	自己肯定感を高める	様々な活動を通し、達成感を味わい個々の自信に繋がるような活動や声掛けを行っていく。
3	危機管理	災害時に備えて避難訓練の強化、シェイクアウトを通し自分自身の身を守ることを意識させる。また、教師自身が常に身の回りの環境などにも危機管理の意識を高くもち、安心安全な環境づくりを行っていく。